

PFC-FD 療法について

PFC-FD 療法とは

患者さん自身の血液を用いて PFC-FD (Platelet-Derived Factor Concentrate Freeze Dry: 血小板由来因子濃縮物凍結乾燥) を作成して行う再生医療です。血小板が傷を修復する際に放出する成長因子などの働きを活用して、自己修復力を活性化させることにより治りにくい組織の修復を促します。最近、話題となっている PRP (Platelet Rich Plasma: 多血小板血漿) 療法に類似した治療法で、PRP 療法は血小板を濃縮したものを注射するのに対して、PFC-FD 療法は血小板からの成長因子を濃縮したものを注射します。自分の血液から作成するので免疫反応や感染症のリスク、その他の副作用が少ないことが特徴です。

治療の対象

変形性関節症や関節周囲が炎症を起こして痛みを生じている患者さんに対して治療を行います。成長因子などが組織を修復し、炎症を抑えることにより症状が軽減することが期待できます。変形性関節症においては効果には個人差がありますが、ヒアルロン酸注射より効果が高く、変形が軽い患者さんで効果が持続しやすいと考えられています。

当院では保険治療の範囲で保存療法（運動療法、薬物療法）や手術療法をお勧めしますが、既存の治療では改善しない患者さんや、全身の状態や社会的な問題で手術が出来ない患者さんに PFC-FD を施行します。

治療のデメリット

① 治療費は全額自己負担

PFC-FD 療法は公的保険適用が出来ない自由診療となります。そのため治療費は全額自己負担となります。

② 効果にはばらつきがある

PFC-FD 療法は血小板の中に含まれる成長因子を利用して組織を修復する治療法です。成長因子の働きにより効果が変わるので、術後の鎮痛効果にはばらつきがあります。

③ 注射部位の腫脹・感染

注射した部位が腫れることがあります。ごくまれに細菌感染を起こすことがあります。

④ 治療の出来ない患者さん

血液検査で感染症陽性、血小板疾患で治療中、注入部位の局所感染、敗血症の患者さんでは治療を行えません。また、他の全身疾患により治療が出来ないことがあります。

治療の方法

- ① 診察や検査などを行い、PFC-FD 療法が適しているか判断して日程を決めます。
- ② 来院していただき血液を約 50mL 静脈より採取します。
- ③ セルソース株式会社に血液を搬送し、PFC-FD を作製します。PFC-FD の作製には約 3 週間を要します。
- ④ PFC-FD を水 6ml に溶解して患部に注入します。凍結乾燥処理をしているので長期保存（6 か月）可能です。

費用について

治療費は 150,000 円となります。また、別途血液検査代金 15,000 円が必要となります。

PFC-FD は感染症検査（HIV、HBV、HCV、梅毒、HTLV-1）で陰性の方のみ提供が可能ですので、採血後に血液検査を行わせていただきます。血液検査の結果加工作業ができないとなった場合には治療費を返還しますが、血液検査代金のご負担をお願いいたします。

保険適応がないため費用は全額自己負担となります。

PFC-FD 作製にあたりご理解ください

- ・ PFC-FD は感染症検査（HIV、HBV、HCV、梅毒、HTLV-1）で陰性の方のみ提供が可能です。
- ・ 体調の良くない場合や、血液の状態によっては、ごく稀に作製が出来ない場合もあります。その際には再度採血をお願いする場合があります。
- ・ 加工会社への血液輸送時に破損した場合、再度採血をしていただく必要があります。
- ・ 連絡なく治療に来られない場合は一定期間が経過すれば作成した PFC-FD を破棄させていただきます。
- ・ 血液を採取後は治療を中止された場合でも返金しません。治療効果が満足できない場合にも返金することは出来ません。